

Germinal

D'APRES LE ROMAN
EMILE ZOLA

REALISATEUR ET SCENARIO
CLAUDE BERRI

MAHEU
GERARD DEPARDIEU

MAHEU MAHEU
MIOU MIOU



大地が芽吹く。時代の鼓動が聞こえる。

渦まく欲望、愛、生命

フランス映画史上

燦然と輝く

感動の天映像叙事詩。

原作
エミール・ゾラ

監督・脚本
クロード・ベリ

GERARD DEPARDIEU
ジェラルド・バルデュ

MIOU MIOU
ミウ・ミウ

ジェルサル

ジュラルド・バルデュ / ミウ・ミウ / ルノー / ジュディット・アンリ / ジャン・カルメ / ジャン・ロジェ・ミロ / アニー・デュブレ

原作: エミール・ゾラ / 原作: 中公文庫 / 監督・脚本: クロード・ベリ / 撮影: イヴ・アンジェロ / 録音: ビエール・ガメ / 衣装: キャロリーヌ・ヌ・ドゥ・グイヴェーズ / 美術: タン・アット・ホアン、クリスチャン・マルティ / 音楽: ジャン・ルイ・ロック (サントラ) 演奏: EMI
1993年/フランス映画/RENN PRODUCTIONS / [DOLBY DIGITAL] 提供: デラ・コーポレーション、サントリー、ヘラルド・エース、フジテレビジョン / 協力: 日本ビクター / 配給: ヘラルド・エース、日本ヘラルド映画

『シラノ・ド・ベルジュラック』の

『愛と宿命の泉』の

『嘆きのテレーズ』の

名優:ジェラルド・パルデュー

名監督:クロード・ベリ

文豪:エミール・ゾラ

フランス映画史上燦然と輝く感動の一大映像叙事詩

ジェルミナル

Germinaal

ルノー/ジェラルド・パルデュー/ミウ・ミウ
ジャン・カルメ/ローラン・テルズイエフ/アニー・テュブレ

1994年仏・セザール賞[撮影賞][衣裳賞]受賞

1993年/フランス映画/ルンプロダクション/カラー/シネスコ/ドルビーステレオSR/2時間40分

提案:テラコロレージョン/サントリー・ハリト・エス、フティレジョン/配給:ハリト・エス、日本ハリト・エス、日本ハリト・エス

鮮烈に甦る。19世紀末の心の叫び

19世紀末、革命前夜。不況の嵐が吹き荒れる北フランスの炭坑。暗黒の時代に生きる人々の悲劇、そして社会の夜明けを、壮大なスケールで描く、愛と感動のスペクタクル芸文大作。

『ジェルミナル』は共和暦で「芽月」と訳す。自然も人も新しく甦る。それは、時代を超えた人間の、愚かしくも感動的な営みである。豊かな時代に生きる人々の心にも、生活の苦しみや喜びに関する全人類の記憶は宿っている。その記憶は、あらたなる「歴史の終わり」を迎える現代、鮮烈に甦る。

人はどこへ行くのか——。この普遍的テーマを、時を超え、現代に問いかける予言的一大映像叙事詩である。

フランスが年に一度贈る 待望の愛と感動の芸文roman

90年『カミュ・クロデル』91年『シラノ・ド・ベルジュラック』
92年『インドシナ』93年『めぐり逢う朝』

フランスが年に一度自信を持って世界に放つ大河roman、94年は『ジェルミナル』だ。「ゾラの描くromanesqueで叙事詩的なフレスコ画から、炎とともに甦る登場人物たち」(ル・モンド紙)など世界中の絶賛をほしきままにしている超話題作である。

革命前夜。揺れる大地に燃え上がる真実の恋

1800年代初頭、北フランスの炭坑。トゥーサン(ド・パルデュー)ら坑内員たちは低賃金で真っ黒になって働き、それでも日々のパンに困る暮らしだった。それでも人々はささやかな幸せを糧に、たくましく生きる。激しくなる一方の不況、そんなとき理想に燃え、若き鉱夫エティエンヌ(ルノー)はストライキを扇動する。しかしストは失敗、多くの血が流れた。その中には彼がひそやかに心を寄せていたトゥーサンの娘カトリーヌ(ジュディット・アンリ)の姿もあった。

失意の彼を勇気付けたのはカトリーヌの母マワード(ミウ=ミウ)だった。交渉は決裂し、スト鎮圧のため軍隊も現れた。激しい衝突の中、トゥーサンまでが倒れてしまう。ついにマワードは家族の愛のため立ち上がった。

時代は大きく揺れ動いていく……



愛するもののため革命に身を投じる 力強いヒロインに共感の嵐

『読書する女』『五月のミル』などセザール賞最多ノミネート女優ミウ=ミウ。彼女が演じる、愛する家族のため、自分の意思を信じ、未来を切り開いていくという女性像に共感が集まっている。悲劇のヒロインに『恋愛小説ができるまで』のジュディット・アンリ、数多くの伝説を持つフォーク歌手のルノーが映画デビューしている。

映像の魔術師イヴ・アンジェロ(『めぐり逢う朝』『伴奏者』)による撮影は、モノクロームの炭坑、寒々とした町、灰色の冬景色を夢幻的な光景として映し出す。録音は『シラノ・ド・ベルジュラック』のピエール・ガメ、編集は『愛と宿命の泉』のエルヴェ・ドゥ・リューズ、衣裳は『妻への恋文』のキャロリーヌ・ドゥ・ヴィヴェーズなど一流スタッフが結集している。

『居酒屋』『嘆きのテレーズ』 不朽の名作。ゾラ文学の映画化

ゾラ文学の映画化作品として、『居酒屋』(監督:ルネ・クレマン)、『獣人』『女優ナナ』(監督:ジャン・ルノワール)、『嘆きのテレーズ』(監督:マルセル・カルネ)など時代を経るごとに輝きを増していく不朽の名作、に連なる偉大な傑作との声も高い。

今秋、感動のロードショー!

特別鑑賞券1400円好評発売中

(当日料金1700円(税込))(ル・シネマは定員制・入替制)

Bunkamura 15th Anniversary

ル・シネマ

03(3477)9264

銀座4丁目交差点・和光ウラ

シネスイッチ銀座

03(3561)0707